

3年ごとの見直し直前！

横浜市市民協働条例をめぐるラウンドテーブル

～市民が考える課題をどう条例の改正に反映させるか？～

♥横浜市市民協働条例が施行されて今年で3年になります。条例には「3年ごとの見直し」が盛り込まれ、市民が参画した広範な議論が期待されています。

♥そこで、新しい協働を考える会では、昨年11月に「横浜市市民協働条例施行の成果と「これから」と題したラウンドテーブルを開催し、この3年間条例により市民と行政、あるいは企業と行政、市民と企業などの協働がどう発展してきたのかを議論しました。

♥そこで出てきた課題は

- ★市民側からの提案の具体例が非常に少ない。
- ★そもそも市民が提案したくても、そのための窓口がない。
- ★協働には「調整役」が必要なのでは？
- ★協働事業はどうあるべきかの議論、そして対等に話し合える場がない。
- ★市民側も団体の横のつながりが希薄になっている。
- ★異動が頻繁な市の職員にも、最低限の「協働の理念」は共有してほしい。

などなどですが、改めて条例は生きているので、話し合いをすすめながらより良いものにしていこう、そのために多くの方々から議論ができる場、そして「協働とは何か？」についてさらに突っ込んだ議論が必要だ、ということになりました。

♥というわけで、新年最初の「ラウンドテーブル」を以下の内容で開催したいと思います。ぜひ、皆様の考える「協働の理念」と持ち寄りましょう。

♥今回は、横浜市市民協働条例の生みの親 和田議員もご参加いただけます。具体的な話し合いをして、条例の見直しに反映させたいと思います。

ぜひ、皆様、ご参加ください。

日時：2016年1月28日(木) 18:30 - 20:30

場 所：かながわ県民活動サポートセンター（横浜駅から徒歩5分）604号室

資料代：200円

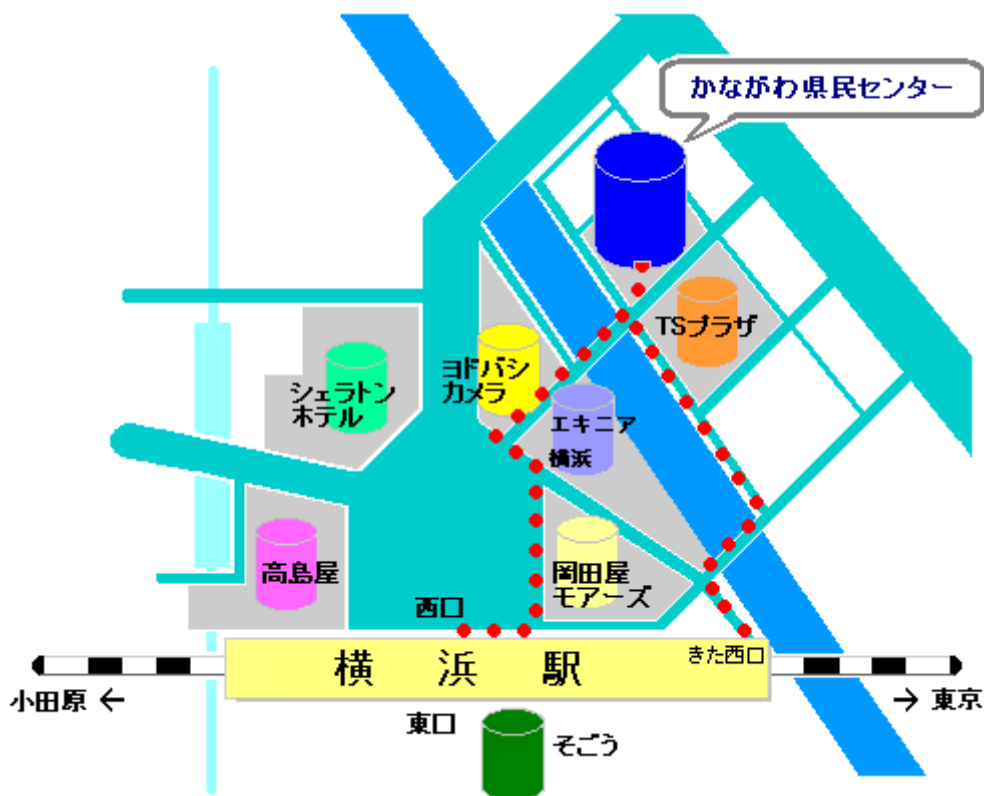
定 員：40名

お申込み：new_kyoudou@yahoo.co.jp

①氏名 ②所属を明記して送信下さい。当日参加でも大丈夫ですが、準備の都合上、できるだけお申し込みをお願いします。ご不明の点は上記アドレスにお問い合わせください。

主催：新しい協働を考える会

.....会場案内図.....



■新しい協働を考える会とは・・・■

2008年度「政策の創造と協働のための横浜会議」（横浜市都市経営局）の事業として採択された「協働契約のあり方を考える研究会」を元に発足しました。研究助成対象期間終了後も調査・研究・検証・提言まで目標に向かって一つひとつ積み重ねて活動して行けるよう、2010年「新しい協働を考える会」として再スタートしました。

2011～12年度には、神奈川県「新しい公共支援事業」で「協働の新たなステージへの環境創出」事業に、神奈川県下のNPO等とともに会議体を組織して取り組み、2013年2月、事業の集大成であるシンポジウム「協働の最先端！NPOがNPOであるために」を開催し、その後も勉強会や情報交換の場を持っています。

また、2012年度6月に制定された「横浜市市民協働条例」については、横浜市長および横浜市議会に対して意見書を提出。3年後の条例見直しに向けた広範な議論を呼びかけています。